



呼 応

第22号

発行
上田染谷丘高校
東京同窓会事務局
〒355-0363
埼玉県比企郡ときがわ
町大附363-1
Tel 0493-65-1492

「ごあいさつ」

高14回卒 土屋 邦子



春の陽ざしに水面もキラキラ輝いて心が弾む
今日この頃、会員の皆様には日々お健やかに
過ごしのことと存じます。

さて今年の総会は、隅田川の辺にそびえるア
サヒビルの最上階、眼下に浅草の街並が一望出
来る景色のもとで開催したいと思います。

そして、隅田川を船で浜離宮まで下ります。江戸時代の要衝とし
て栄え今に残る橋の数々と、船に飛び交うユリカモメそんな風情を
楽しみましょう。

浜離宮は徳川家の庭園でしたが、現在は国の特別名勝史跡に指定
されており、海水を引き入れた「潮入の池」や「三百年の松」等々
当時の将軍家の贅沢な社交の一端を垣間見る事が出来るかと思いま
す。

どうぞお友達とお誘い合わせてご参加下さいますよう、心よりお
待ち申し上げております。

記

期 日 平成十九年五月十三日(日)

開 会 午前十一時半

会 場 アサヒビル吾妻橋ビル21階 レストラン アラスカ

最寄駅 銀座線・都営浅草線 浅草駅

会 費 金八千円也(年度会費の千円を含む)

切 日 平成十九年四月二十七日

※会費の振込を以って出席通知に代えさせていただきます

※総会に欠席の場合は恐れ入りますが年度会費のみお振込下さい

連絡先 電話 ○四九三―六五―一四九二 土屋

当日携帯 ○九〇―七二四―一九九五一 水野

浜 離 宮



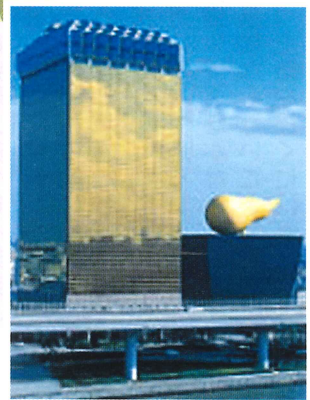
レストラン アラスカ (浅草アサヒビル吾妻橋ビル)



〒130-0001
東京都墨田区吾妻橋1-23-1
アサヒビル吾妻橋ビル21階
TEL 03-5608-5001(代)



←隅田川ライン



↑アサヒビル吾妻橋ビル

上田高女・染谷丘高校東京同窓会 平成18年度会計報告

(単位:円)

収 入		支 出	
前年度より繰越	690,157	総会費	227,333
年会費 304名	281,660	渉外費 同窓連等	73,000
総会費 32名×6,000	192,000	通信費 切手等	68,670
祝 儀 本校より4名	30,000	印刷費 呼応21号等	66,150
補助費 支部費	5,000	事務費 封筒等	2,125
受取利息	19	会議費 役員会	44,600
		交通費 役員会	41,520
		次年度へ繰越	675,438
計	1,198,836	計	1,198,836

上記のとおりご報告申し上げます

平成19年3月31日

会長 土屋邦子
会計 柿沼多美子 北沢清美
監査の結果相違ありません
会計監査 桑原安代

〔年間活動報告〕

平成18年

4月11日 会報発送
6月5日 東京同窓会 総会
6月24日 本校役員総会
6月30日 役員会
9月25日 東信同窓連理事會
10月28日 本校同窓会総会

平成19年

1月19日 役員会
2月3日 同窓連新年役員総会
2月21日 役員会



車山ニッコウキスゲ 7月下旬

誇りをもちたい日本の文化

高9回卒 鈴木みどり

日本の文化を紹介するゲストティーチャーとして米国へ行って来た。三回目である。

最初は国際交流団体を通して、民間の親善大使として派遣されたが、翌年からは、縁あって親しくなったある高校へ出向いて



鈴木みどりさん

いる。主な科目は書道、琴、日本語、昔話、折り紙などだが、いずれも人気は非常に高い。

日本にはたくさんさんの昔話があり、海外では低学年から大学生、大人にいたるまで身をのり出して興味深く聞いてくれる。イギリス人教師の指導を受けて英訳した七、八話にオリジナルの絵を組み、最後には内容に合った音楽を聞かせる。学生たちの反応を見ながらのストーリーテリングはとても楽しい。時々パートツが動くため「動く紙芝居だ」と大喜びだ。

かつてブルガリア、ロシア、イギリスの人たちにも見せ大変好評だった。

私の仕事柄、



Grandfather who makes trees bloom

限られた時間内で日本の伝統音楽を知ってもらうため、説明を

しながら、まず古典を聞かせる。そして日本の叙情曲はもちろんアメリカ人の好むポピュラー音楽やパッサリのピアノ曲をアレンジして演奏する。新学期の九月から年末にかけての渡米が多く、クリスマスやマスコットや音楽が弾けるのも都合がいい。誕生日の生徒がいれば『ハッピーバースデー』を弾き、クラス中の大合唱になつて大いに盛り上がる。



「ジャパニーズハーブのサウンドは素晴らしい」と学生たちは絶賛し、楽器の歴史や構造、音楽理論にまで質問が矢継ぎ早にとんでくる。「音楽は世界語である。」



日本に赴任していた数人の外国人に琴を教えたが、「こんなに素晴らしい伝統楽器をどうしてもっとたくさんの方が弾かないのか」と残念がっていた。米滞在中、近隣の学校やコミュニティからラジオ体操、ソロバン、日本料理、魚拓の指導をたのまれた。予定にないことだったが、私自身も楽しみながら挑戦したものだ。

そんな時、あらためて日本文化の大切さに気づかされる。彼らの驚きの笑顔は私の喜びでもある。帰国後、学生や教師、地域の人たちからのファンレターや電

子メールが相次いだ。自分の専門に限らず、なるべくたくさん日本の文化の認識を深め、次回の渡米に備えたい。

（筆者紹介）

昭和三十三年卒業

一九九七年旅のエッセイ集「時計をとめたい旅でござんす」出版。一九九九年からイギリス留学。主に日本昔話の翻訳に取り組み

二〇〇二年、二〇〇四年、二〇〇六年、ゲストティーチャーとして渡米。

二〇〇六年、人との出会い、美しい信州、琴のしらべなどを中心にしたエッセイ集「花のうた」を出版。

やっぱり描くことが好き

高14回卒 大池 深 雪



私は子供の頃、近くの里山の中で「戦いごっこや、サーカスごっこ、秋には、キノコ取り、また野では、薪拾い、」兎の餌取り「や畑の手伝いをする等いつも自然の中で暮らしていました。

だから四季折々の自然の色、例えば新緑、土手に咲く可憐な花々、秋の紅葉、畑に行く途中の崖の色、木々の枝ぶり等々が何と綺麗だろうと思っていました。

絵を描くことが好きになったきっかけは、もしかしたらそんな子供時代にあつたのかも知れないと思います。

とにかく、子供が小学校に入学したら絵を描こうと決めていました。気がついて見れば絵を

始めてからもういつの間にか二十数年も経っています。

子供の友達のお母さんでもある先生に習い始めて五年は中々思う様になりませんでした。器を描いても陶器は陶器らしくガラスはガラスらしく描けないし、また絵具箱に沢山の綺麗な色が並んでいるので沢山の色を使つて綺麗な絵にしようとしても色のバランスが取れない等でした。

ある時先生に、「画学生と同じことをしても年齢的にはできないので、感じたことを素直におおらかに、あまり形に捉われずに表現すれば良い絵になる。」と言われました。

その時、良い絵とは何と定義「が、今まで私がイメージしていたものより大きく広がり気持ちがとても楽になり楽しくなりました。

作品に自分自身を表現するには、モチーフと画風をどんな風にするかが最も大切であり、一番悩むところです。

人物画はあまり得意ではありませんでしたが現在は子供の群像画を連作として描いています。それは子供の持つ持っている初々しさ、可愛らしさ、はつらつさ等々に強く惹かれた為であり、これを表現するのはとても難しいですが敢えて挑戦し続けています。公募展へは六年位前から出品していますが、私の絵にある個性を認められて幸運にも何回か受賞をすることができました。

今、思い悩んでいることは、懸命に描いてもなかなか気に入った作品にならないことです。気に入った絵を描くにはどんな生活を送れば良いのだろうか？ 良い絵を見る、音楽を聴く、本を読む、身辺を正す、等々い

ろいろと考えてまたやって見えます。

私などは、「人間性がそのまま現れる。」と言われたらお手上げ状態ですが、それでも絵を描きたい思いは強く、まだまだ筆は置けません。郷里の友に、「絵にも産みの苦しみがあつた。」と言ったら、「その事自体が羨ましい。」といわれました。

私自身が健康で家族の協力も得て、今後も絵を描いて行けることはやはり有り難い事であり頑張つて行きたいと思つています。

（プロフィール）
旺玄会会友、厚展会会友



第72回旺玄展(2006) 奨励賞 燦々(1)

はスイス人のアンドレアス・グツツヴィラー氏。念願の「ノヴァンバーステップス」の出演依頼を受けて、わくわくしています。一昨年、ドイツのシュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭に招かれ、「武満音楽週間・生誕75周年記念コンサート」に出演し、大変感動的な体験を致しました。今回も成功できるよう、精一杯頑張りたいと思います。

中澤きみ子コンサートスケジュール

4月15日 中澤ホールスプリングコンサート2007
5月6日 0歳児からのクラシック
5月9日 中澤きみ子ヴァイオリンリサイタル
5月10日 16日 上海春の国際音楽祭
5月17日 中澤きみ子ヴァイオリンリサイタル
8月5日 11日 あさご国際音楽祭
8月19日 26日 NAGANO 国際音楽祭
アンサンブル・ウィーン・東京ツアー
12月13日 (木) 19:00開演/トッパンホール(東京都文京区)

編集後記

今回の会報も、いろいろな分野でご活躍の方々に寄稿をお願いいたしましたところ快くお受けいただき、おかげさまで会員の皆様にお届けすることが出来ました。

総会はバラエティに富んだお楽しみ会が盛り込まれています。どうぞ会員同志お誘い合わせの上、一人でも多くの方々に風薫る五月の佳き日にお逢い出来まことを願っています。